

# 簡易 XML ファイル作成機能 (S-ZEDI) 利用ガイド



平成 30 年 11 月 28 日  
一般社団法人全国銀行資金決済ネットワーク  
株式会社 NTT データ

## 目次

1. はじめに.....	4
2. S-ZEDI とは .....	5
2.1 概要・目的.....	5
2.2 利用イメージ（振込電文（XML ファイル）の作成） .....	5
2.3 利用イメージ（振込の実施（インターネットバンキング）） .....	6
2.4 ご利用にあたっての留意事項 .....	9
2.5 S-ZEDI の入力項目について .....	10
3. S-ZEDI を利用した入金消込の具体例 .....	19
4. S-ZEDI の操作手順 .....	25
5. お問い合わせ先 .....	29
参考 1. S-ZEDI で登録可能な金融 EDI 情報のタグ名一覧 .....	30
参考 2. XML 電文の電子領収書への活用について .....	31

## ○用語集

本冊子で使用する用語について以下に示します。

表 用語集

項番	用語	解説
1	全銀ネット	「一般社団法人全国銀行資金決済ネットワーク」のことをいう。
2	XML	ExtensibleMarkupLanguage (=拡張可能な意味付け言語) の略称。文書やデータの意味や構造を記述するための意味付け (マークアップ) 言語のことをいう。入力されたデータ内容の前後に「タグ」と呼ばれるルールの決まった文字を挿入し印を付けることで、データ内容の意味付けを行う。
3	金融 EDI 情報	支払企業から受取企業に送信する、商取引に関する情報 (支払通知番号、請求書番号等) のことをいう。
4	仕向情報	振込元の名称、口座番号等の情報のことをいう。
5	被仕向情報	振込先の名称、口座番号等の情報のことをいう。

## 1. はじめに

この度は、全銀 EDI システム（以下、「ZEDI」という。）のご利用をご検討くださり、まことにありがとうございます。

ZEDI では、簡易 XML ファイル作成機能（以下、「S-ZEDI」という。）を企業様向けに無償で提供いたします。

本書は、S-ZEDI の内容と S-ZEDI を利用した入金消込の概要等をご理解いただくことを目的としております。

## 2. S-ZEDI とは

### 2.1 概要・目的

S-ZEDI は、WEB ブラウザ上の画面入力により、金融 EDI 情報を添付可能な振込電文 (XML ファイル) を、簡易に作成可能とする機能です。

作成した振込電文 (XML ファイル) をインターネットバンキング等でご活用いただくことで、取引先に対して内訳情報等を添付した振込の実施が可能となります。

専用ソフトの購入や会計システムの改修といった対応なしに、ZEDI に対応した総合振込用の XML ファイルを作成することができ、ZEDI の導入コストを軽減します。



図 2.1-1 概要・目的

### 2.2 利用イメージ (振込電文 (XML ファイル) の作成)

S-ZEDI 専用サイト (取引先金融機関にお問合せください。) にアクセスいただき、WEB ブラウザ画面上での入力・操作により振込電文 (XML ファイル) を作成できます。

※提供開始時期は、サービス開始 (2018 年 12 月 25 日予定) からとなります。

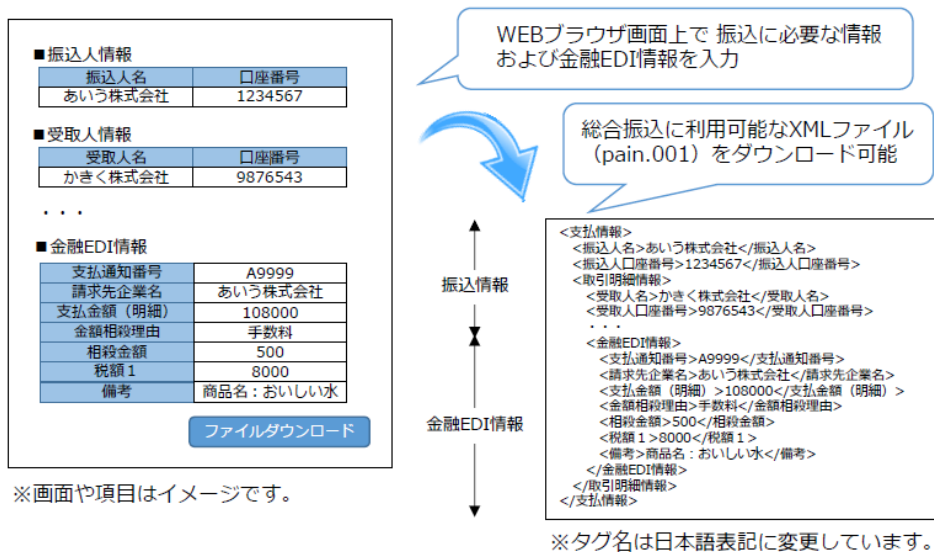


図 2.2-1 利用イメージ (振込電文 (XML ファイル) の作成)

## 2.3 利用イメージ（振込の実施（インターネットバンキング））

### （1）振込実施の概要

S-ZEDI を利用したインターネットバンキング経由の振込の概要は図 2.3-1 のとおりです。各項の内容については「（2）振込実施の詳細」においてご説明いたします。また、S-ZEDI を利用したインターネットバンキング経由の振込は以下の流れとなります。支払企業が実施する②情報入力、③XML ファイルの取得が S-ZEDI で実施可能な作業となります。

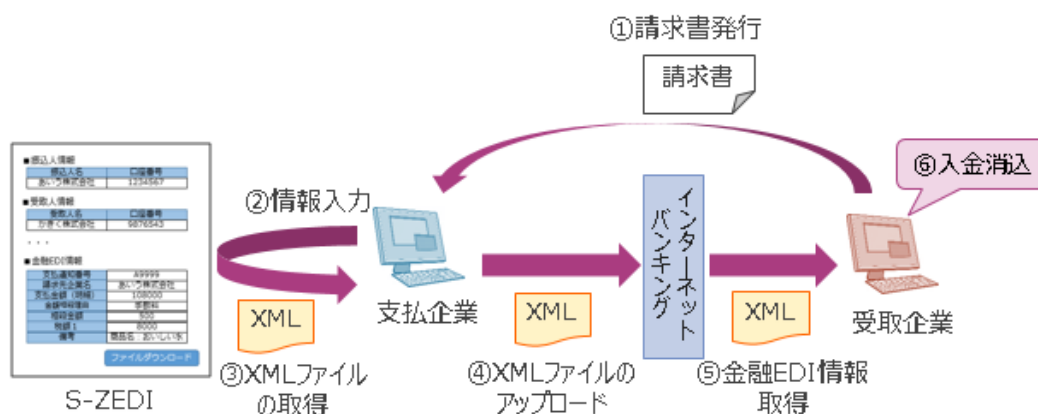


図 2.3-1 振込実施の概要

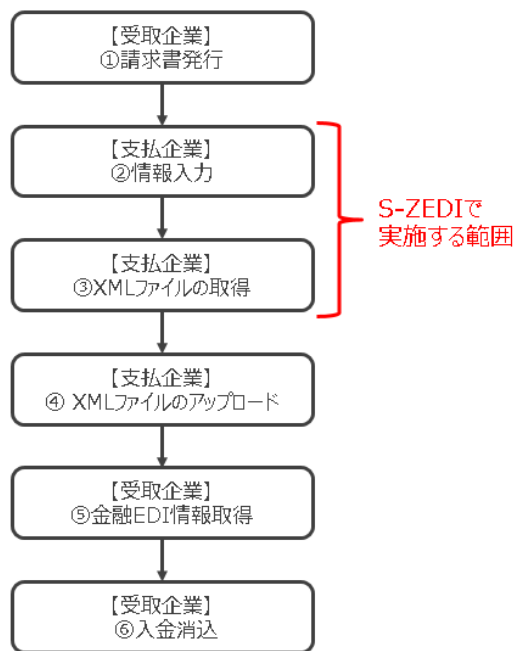


図 2.3-2 振込実施の流れ

## (2) 振込実施の詳細

S-ZEDI を利用した振込の実施イメージは以下のとおりです。

### ①請求書発行

受取企業は支払企業に対し、請求書を発行します。また、必要に応じて、支払時に金融 EDI 情報に設定してもらいたい事項を通知いたします。

例) 「請求書番号および支払通知発行日」など



図 2.3-3 利用イメージ1

### ②情報入力

支払企業は受領した請求書をもとに、支払人情報や受取人情報、金額等振込に必要な情報および金融 EDI 情報を S-ZEDI に入力します。

操作手順については「4. S-ZEDI の操作手順」をご参照ください。

### ③XML ファイルの取得

支払企業は S-ZEDI で作成した振込電文 (XML ファイル) を取得します。確認用ファイルもダウンロードできるため、支払前に入力内容を確認することが可能です。

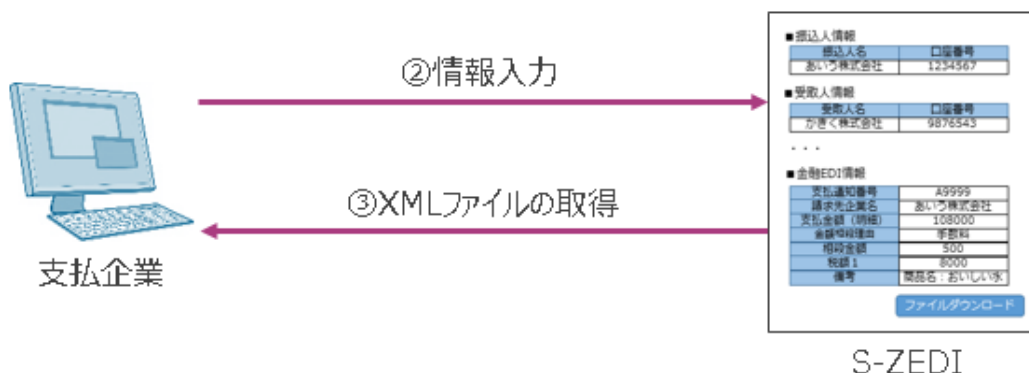


図 2.3-4 利用イメージ2

#### ④XML ファイルのアップロード

「③XML ファイルの取得」において取得した振込電文（XML ファイル）を ZEDI 対応の法人インターネットバンキングにアップロードすることで総合振込を実施できます。

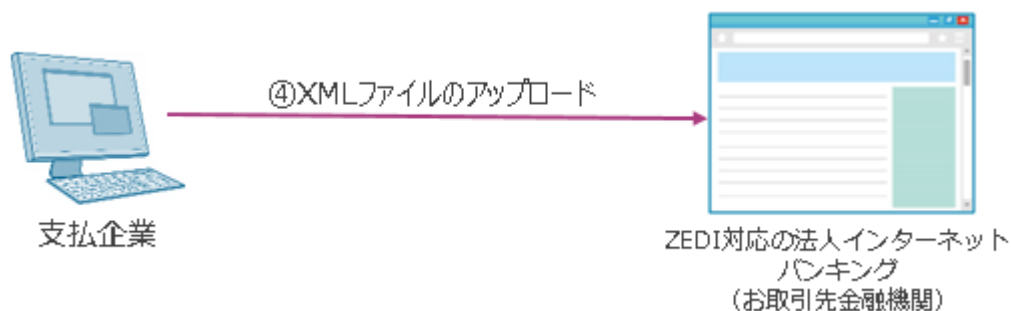


図 2.3-5 利用イメージ3

#### ⑤金融 EDI 情報取得

受取企業は、振込入金通知または入出金取引明細の照会を実施し、金融 EDI 情報を取得します。

#### ⑥入金消込

受取企業は、「⑤金融 EDI 情報取得」で取得した金融 EDI 情報を用いて、入金消込を実施します。「3. S-ZEDI を利用した入金消込の具体例」において入金消込の事例をご紹介しますので、そちらもご参照ください。

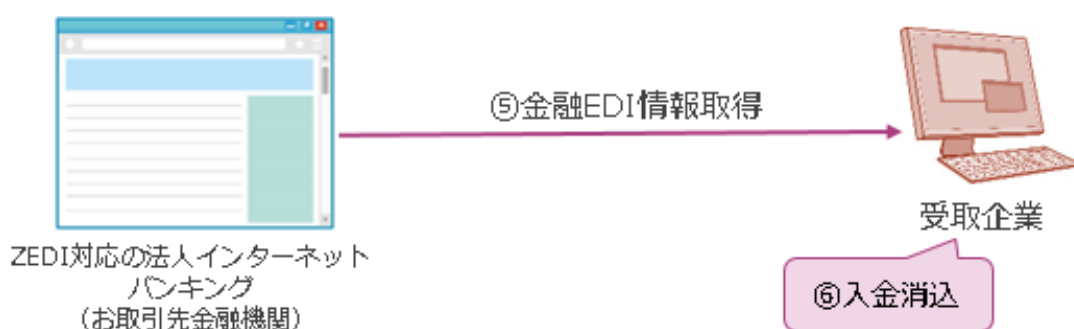


図 2.3-6 利用イメージ4



## 2.4 ご利用にあたっての留意事項

S-ZEDIのご利用にあたっては、以下の点にご留意ください。

(赤字箇所は特にご留意いただきたい事項となります)

- **S-ZEDIでは、ID/パスワードの入力を求めることはございません。万が一入力を求められた場合、フィッシング等の可能性がございますので十分にご注意ください。**
- S-ZEDIでは、振込元口座情報が1件のファイルのみ作成可能です。1ファイルあたりの取引明細（指定可能な振込先）は最大10件です。また、1取引明細あたりの金融EDI情報は最大10件です。
- 作成される振込用のXMLファイルにおいては、金融EDI情報欄が暗号化されております。XMLファイル作成後の内容確認が必要な場合は、確認用ファイルをダウンロードしてください。
- **ファームバンキングでのご利用をお考えの場合には、ZEDIに対応した通信ソフト等が必要となりますので、ご利用の金融機関へご相談ください。**
- 推奨環境は以下のとおりとなります。(2018年4月時点)

表 2.4-1 推奨環境

OS製品	ウェブブラウザ
Windows 7	Internet Explorer 11、Firefox
Windows 8.1	Internet Explorer 11、Firefox
Windows 10	Internet Explorer 11、Microsoft Edge、Firefox

## 2.5 S-ZEDI の入力項目について

### (1) 振込電文 (XML ファイル) の構造イメージ

S-ZEDI で作成する振込電文 (XML ファイル) は、仕向情報、被仕向情報、金融 EDI 情報により構成されます。

S-ZEDI においては、「振込人情報入力画面」で仕向情報、「取引明細入力画面」で被仕向情報と金融 EDI 情報を入力します。

全国銀行協会において ZEDI の稼動を見据え、ZEDI が取り扱う適用業務および各適用業務におけるレコード・フォーマット (XML 形式) を制定しており、全国銀行協会の HP において公表しております (<https://www.zenginkyo.or.jp/news/detail/nid/8335/>)。

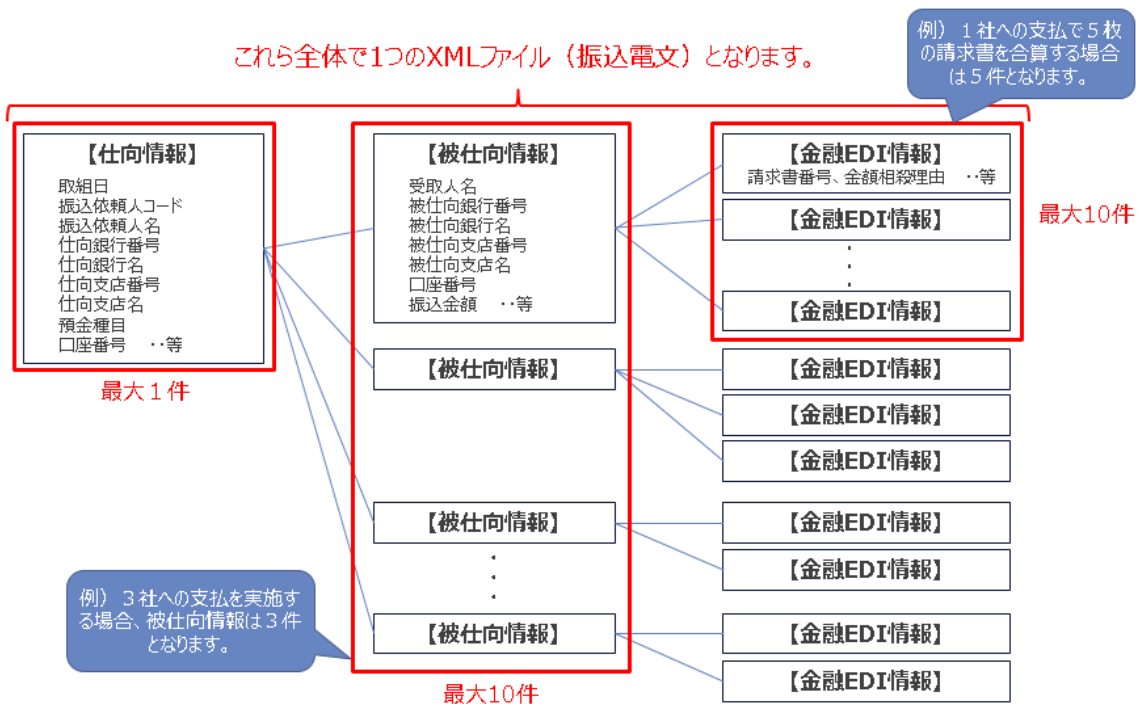


図 2.5-1 振込電文 (XML ファイル) の構造イメージ

(2) 振込人情報入力画面の入力項目

振込人情報入力画面では、取組日、振込依頼人情報、取引管理情報を入力します。

表 2.5-1 振込人情報入力画面の入力項目一覧

※は必須項目です。

No.	項目名	概要
-	■取組日	
1	取組日（振込指定日）※	振込指定日を入力してください。 形式はYYYYMMDDです。 全銀規定フォーマット（ヘッダー）の「取組日」に対応します。 例) 2018年12月25日の場合、 20181225
-	■振込依頼人情報	
2	振込依頼人コード※	振込依頼人識別のため金融機関が採番したコードを入力してください。 金融機関から企業様に配布するコードとなりますので、ご不明の場合はお取引先の金融機関にお問合せください。 全銀規定フォーマット（ヘッダー）の「振込依頼人コード（取引企業コード）」に対応します。 例) 1234567890
3	振込依頼人名※	振込依頼人名を入力してください。 全銀規定フォーマット（ヘッダー）の「振込依頼人名」に対応します。 例) サンプル株式会社
4	法人番号（法人マイナンバー）	振込依頼人の法人番号を入力してください。 例) 1234567890123
5	銀行番号※	振込元の統一金融機関番号を入力してください。 全銀規定フォーマット（ヘッダー）の「仕向銀行番号」に対応します。 例) 9999

No.	項目名	概要
6	銀行名	振込元の金融機関名を入力してください。 全銀規定フォーマット（ヘッダー）の「仕向銀行名」に対応します。 例) カブ ルギンコウ
7	支店番号 ※	振込元の統一店番号を入力してください。 全銀規定フォーマット（ヘッダー）の「仕向支店番号」に対応します。 例) 999
8	支店名	振込元の支店名を入力してください。 全銀規定フォーマット（ヘッダー）の「仕向支店名」に対応します。 例) カブ ルシテン
9	預金種目	振込元口座の預金種目を以下のいずれかから選択してください。 1（普通預金） 2（当座預金） 9（その他） 全銀規定フォーマット（ヘッダー）の「預金種目（依頼人）」に対応します。
10	口座番号	振込元口座の口座番号を入力してください。 全銀規定フォーマット（ヘッダー）の「口座番号（依頼人）」に対応します。 例) 1234567
-	■取引管理情報	
11	グループメッセージ ID ※	作成する総合振込依頼明細ファイルに割当てる任意の番号を入力してください。 必須項目のため、必ず入力が必要です。 初期値として現在日時（YYYYMMDD hhmm） + “001” が表示されます。 ご利用にならない場合は初期値から変更の必要はございません。管理等でご利用になる場合には、お好きな番号に変更できます。 例) 201812251200001（初期値） 例) GROUP01（任意の ID）

No.	項目名	概要
12	支払情報 ID ※	<p>支払情報に割当てする任意の番号を入力してください。</p> <p>必須項目のため、必ず入力が必要です。</p> <p>初期値として現在日時 (YYYYMMDD hhmm) + “001” が表示されます。</p> <p>ご利用にならない場合は初期値から変更の必要はございません。管理等でご利用になる場合には、お好きな番号に変更できます。</p> <p>例) 201812251200001 (初期値)</p> <p>例) PAYMENT001 (任意の ID)</p>

(No. 4、11、12 は、今回制定された XML ファイルのレコード・フォーマットにおいて追加された項目です。旧来の固定長電文には存在しません。)

(3) 取引明細入力画面の入力項目（金融 EDI 情報以外）

取引明細入力画面では、受取人情報、振込金額、その他取引明細情報、金融 EDI 情報を入力します。金融 EDI 情報の入力項目については、「(4) 金融 EDI 情報項目」においてご説明します。

表 2.5-2 取引明細入力画面の入力項目一覧

※は必須項目です。

No.	項目名	概要
-	■受取人情報	
1	受取人名 ※	受取人名を入力してください。 全銀規定フォーマット（データ）の「受取人名」に対応します。 例) カブシカイシャデータ
2	法人番号（法人マイナンバー）	受取人の法人番号を入力してください。 例) 1234567890123
3	手形交換所番号	統一手形交換所番号を入力してください。 全銀規定フォーマット（データ）の「手形交換所番号」に対応します。 例) 1234
4	銀行番号 ※	振込先の統一金融機関番号を入力してください。 全銀規定フォーマット（データ）の「被仕向銀行番号」に対応します。 例) 9999
5	銀行名	振込先の金融機関名を入力してください。 全銀規定フォーマット（データ）の「被仕向銀行名」に対応します。 例) データイソウ
6	支店番号 ※	振込先の統一店番号を入力してください。 全銀規定フォーマット（データ）の「被仕向支店番号」に対応します。 例) 999
7	支店名	振込先の支店名を入力してください。 全銀規定フォーマット（データ）の「被仕向支店名」に対応します。 例) データイセン

No.	項目名	概要
8	預金種目 ※	振込先口座の預金種目を以下のいずれかから選択してください。 1 (普通預金) 2 (当座預金) 4 (貯蓄預金) 9 (その他) 全銀規定フォーマット (データ) の「預金種目」に対応します。
9	口座番号 ※	振込先口座の口座番号を入力してください。 全銀規定フォーマット (データ) の「口座番号」に対応します。 例) 1234567
-	■振込金額	
10	振込金額 (円) ※	振込金額を入力してください。 全銀規定フォーマット (データ) の「振込金額」に対応します。 例) 999999
-	■その他取引明細情報	
11	取引明細識別番号 ※	取引明細を識別するための任意の番号を入力してください。S-ZEDI では1ファイル毎に最大10件の取引明細を作成可能です。 必須項目のため、必ず入力が必要です。企業様の管理のための項目ですので、お好きな値を入力ください。 例) MEISAI0001
12	顧客コード1	金融 EDI 情報を入力しない場合、振込依頼人が定めた受取人識別のための顧客コードを入力してください。 金融 EDI 情報を入力する場合、顧客コード
13	顧客コード2	1、2はともに入力しないでください。 全銀規定フォーマット (データ) の「顧客コード1」「顧客コード2」に対応します。

No.	項目名	概要
14	振込指定区分	振込指定区分を以下のいずれかから選択してください。 7 (テレ振込) 8 (文書振込) 全銀規定フォーマット (データ) の「振込指定区分」に対応します。
15	識別表示	金融 EDI 情報を入力する場合、識別表示「Y」を入力してください。 金融 EDI 情報を入力しない場合、未入力、または金融機関から指定された値があればその値を入力してください。 全銀規定フォーマット (データ) の「識別表示」に対応します。
16	ダミー (ヘッダー)	取引先の金融機関から指定された「ダミー (ヘッダー)」を入力してください。 指定がない場合は入力不要です。 全銀規定フォーマット (ヘッダー) の「ダミー」に対応します。
17	ダミー (データ)	取引先の金融機関から指定された「ダミー (データ)」を入力してください。 指定がない場合は入力不要です。 全銀規定フォーマット (データ) の「ダミー」に対応します。
18	新規コード ※	新規コードを以下のいずれかから選択してください。 0 (その他) 1 (第1回振込分) 2 (変更分 (被仕向銀行・支店、預金種目・口座番号)) 全銀規定フォーマット (データ) の「新規コード」に対応します。

(No. 2、11 は、今回制定された XML ファイルのレコード・フォーマットにおいて追加された項目です。旧来の固定長電文には存在しません。)



(4) 金融 EDI 情報項目

S-ZEDI では、以下の 18 項目を金融 EDI 情報として登録可能としております。

下記項目は、全項目入力必須ではなく、必要項目のみでの利用が可能です。

登録する金融 EDI 情報項目については、支払企業と受取企業の間で個別に調整ください。

なお、支払人企業法人コードおよび請求書番号については必須項目とはしていませんが、入金消込に最低限必要な項目と考えられるため、入力推奨としております。

各項目のタグ名については「参考 1. S-ZEDI で登録可能な金融 EDI 情報のタグ名一覧」をご参照ください。

表 2.5-3 S-ZEDI で登録可能な金融 EDI 情報項目一覧

No.	項目名	概要
1	業界区分	業界ごとの EDI 標準を判別するための区分です。全銀ネットに登録された指定のコードを入力してください。 S-ZEDI では「Z01」を入力してください。
2	データ区分	業界区分ごとに、手続き内容を判別するための区分です。全銀ネットに登録された指定のコードを入力してください。 S-ZEDI では「001」を入力してください。
3	支払通知番号	支払通知書に付与された番号・発行日を入力してください。支払通知書がない場合は入力不要です。
4	支払通知発行日	
5	請求書番号 (入力推奨)	請求書に付与された番号を入力してください。
6	支払人企業法人コード (入力推奨)	支払人企業の法人番号を入力してください。代行会社による振込等、請求先と実際の支払人が異なる場合、実際の支払人企業 (代行会社等) の法人番号となります。
7	受取人企業法人コード	受取人企業の法人番号を入力してください。
8	請求先企業名	請求先企業 (請求書の宛先企業) の企業名・法人番号を設定してください。代行会社による振込等、請求先と実際の支払人が異なる場合、実際の支払人企業 (代行会社等) ではなく請求先企業の企業名・法人番号となります。
9	請求先企業法人コード	

No.	項目名	概要
10	支払金額（明細）	請求書単位の支払金額を入力してください。金額相殺や一部支払を行う場合、実際の支払金額となります。
11	金額相殺理由	手数料の控除等で請求金額と支払金額に差額が発生する場合の理由を入力してください。
12	相殺金額	金額相殺理由に記載した理由において発生した、請求金額と支払金額の差額を入力してください。
13	税額 1	消費増税や軽減税率の導入に伴い、複数税率を併記する必要がある場合に利用します。 適用する税率・税額を入力してください。 例) 8%の場合 税率 1 : 8
14	税率 1	
15	税額 2	
16	税率 2	
17	税額（合計）	
18	備考	上記項目以外で必要な情報を任意に入力可能です。

### 3. S-ZEDI を利用した入金消込の具体例

#### (1) 金融 EDI 情報の活用事例と対応案

金融 EDI 情報の活用事例と対応案を以下に示します。

表 3-1 金融 EDI 情報の活用事例と対応案の例

事例	内容	対応案
複数請求の 合算振込	複数請求がまとめて振り込まれ、単体の請求書の金額と振込金額が合致しない。 (図 3-1 参照)	「請求番号」に合算する請求書番号を全て入力する。
翌月分の 合算振込	定期的な取引で翌月分の請求が事前に確定している場合等に、今月と翌月の請求がまとめて振り込まれ、単体の請求書の金額と振込金額が合致しない。	「備考」に翌月分を含めている旨を入力する。
請求金額の 分割振込	請求書の行単位での一部支払により、請求書の金額と振込金額が合致しない。 (図 3-2 参照)	「請求書番号」に行番号を含めて入力する。 例) 「9999-01」 請求書番号：9999 の 1 行目
	単体の請求書の請求が分割して振り込まれ、請求書の金額と振込金額が合致しない。 (図 3-3 参照)	「備考」に一部支払とする旨を入力する。
振込依頼人名の 不一致	代行会社等による振込により、請求書の宛先と支払人が合致しない。 (図 3-4 参照)	「請求先企業法人コード」 「請求先企業名」に請求書の宛先の企業情報を入力する。
振込手数料の 控除	振込手数料が請求金額から差し引かれ、請求書の金額と振込金額が合致しない。 (図 3-5 参照)	「金額相殺理由」に減額の原因、「相殺金額」に減額した金額を入力する。 例) 金額相殺理由：振込手数料 相殺金額：540
返品等の 減額振込	請求書発行後の返品等による振込金額の減額により、請求書の金額と振込金額が合致しない。	例) 金額相殺理由：返品 相殺金額：2500

事例	内容	対応案
複数税率への対応	消費増税や軽減税率の対応で複数税率の併記が必要。 (図 3-6 参照)	「税率 1・2」、「税額 1・2」に各税率とその金額を入力する。 税率は整数で入力する。 例) 8%の場合 税率 1 : 8
備考の活用	振込内容の特定を容易にするため、商品コードや注文番号等を記載する。 (図 3-2 参照)	「備考」に必要な情報を入力する。 例) 商品コード : A01,A02,B01 例) 本支払のお問合せは経理部〇〇まで TEL(99)999 9-9999
	問合せ発生時の連絡先を記載する。	

(2) 入力例イメージ

金融 EDI 情報の具体的な入力例のイメージを以下に示します。

図中の「-」(ハイフン) は入力不要を意味します。入力を禁止するものではなく、各例のパターンで必ずしも必須ではない項目となります。

例) 合算振込 (図 3-1) の例では、税額、税率の入力は任意となります。

金融EDI情報項目	入力内容 (例)
業界区分	Z01
データ区分	001
支払通知番号	12345
支払通知発行日	20181225
請求書番号 (入力推奨)	0001
支払人企業法人コード (入力推奨)	1234567890123
受取人企業法人コード	1111111111111
請求先企業名	-
請求先企業法人コード	-
支払金額 (明細)	108000
金額相殺理由	-
相殺金額	-
税額 1	-
税率 1	-
税額 2	-
税率 2	-
税額 (合計)	-
備考	-
業界区分	-
データ区分	-
支払通知番号	-
支払通知発行日	-
請求書番号 (入力推奨)	0002
支払人企業法人コード (入力推奨)	-
受取人企業法人コード	-
請求先企業名	-
請求先企業法人コード	-
支払金額 (明細)	216000
金額相殺理由	-
相殺金額	-
税額 1	-
税率 1	-
税額 2	-
税率 2	-
税額 (合計)	-
備考	-

**金融EDI情報 1**

全明細の合計金額 (この例の場合 ¥324,000) については、金融EDI情報ではなく振込情報部分に入力する

1 支払で同一の情報は金融EDI情報 2 以降は省略可能

**金融EDI情報 2**

複数請求書の合算払いの場合、金融EDI情報 1、2・・・を入力

図 3-1 入力例イメージ (合算振込)

金融EDI情報項目	入力内容 (例)
業界区分	Z01
データ区分	001
支払通知番号	-
支払通知発行日	-
請求書番号 (入力推奨)	9999-01
支払人企業法人コード (入力推奨)	1234567890123
受取人企業法人コード	-
請求先企業名	-
請求先企業法人コード	-
支払金額 (明細)	-
金額相殺理由	-
相殺金額	-
税額 1	-
税率 1	-
税額 2	-
税率 2	-
税額 (合計)	-
備考	注文番号 : Order001 商品 コード : Sho01,Sho02
業界区分	-
データ区分	-
支払通知番号	-
支払通知発行日	-
請求書番号 (入力推奨)	9999-02
支払人企業法人コード (入力推奨)	-
受取人企業法人コード	-
請求先企業名	-
請求先企業法人コード	-
支払金額 (明細)	-
金額相殺理由	-
相殺金額	-
税額 1	-
税率 1	-
税額 2	-
税率 2	-
税額 (合計)	-
備考	注文番号 : Order002 商品 コード : Sho11,Sho12

請求書の行番号単  
位で使用する場  
合、「請求書番号+行  
番号」を入力。  
この例の場合、  
請求書番号 : 9999  
行番号 : 01

**金融EDI情報 1**

注文番号や商品コ  
ードが必要な場  
合は備考に入  
力

**金融EDI情報 2**

図 3-2 入力例イメージ (分割振込 1)

金融EDI情報項目	入力内容 (例)
業界区分	Z01
データ区分	001
支払通知番号	-
支払通知発行日	-
請求書番号 (入力推奨)	9999
支私人企業法人コード (入力推奨)	1234567890123
受取人企業法人コード	-
請求先企業名	-
請求先企業法人コード	-
支払金額 (明細)	-
金額相殺理由	-
相殺金額	-
税額1	-
税率1	-
税額2	-
税率2	-
税額 (合計)	-
備考	注文日が先月16日以降の代金については月末にお支払いたします。

分割支払をする場合の入力例

図 3-3 入力例イメージ (分割振込2)

金融EDI情報項目	入力内容 (例)
業界区分	Z01
データ区分	001
支払通知番号	-
支払通知発行日	-
請求書番号 (入力推奨)	9999
支私人企業法人コード (入力推奨)	1234567890123
受取人企業法人コード	-
請求先企業名	サンプル株式会社
請求先企業法人コード	222222222222
支払金額 (明細)	-
金額相殺理由	-
相殺金額	-
税額1	-
税率1	-
税額2	-
税率2	-
税額 (合計)	-
備考	-

代行振込の場合、請求書の宛先を入力

図 3-4 入力例イメージ (振込依頼人名の不一致)

金融EDI情報項目	入力内容 (例)
業界区分	Z01
データ区分	001
支払通知番号	-
支払通知発行日	-
請求書番号 (入力推奨)	9999
支払人企業法人コード (入力推奨)	1234567890123
受取人企業法人コード	-
請求先企業名	-
請求先企業法人コード	-
支払金額 (明細)	1079460
金額相殺理由	振込手数料
相殺金額	540
税額 1	-
税率 1	-
税額 2	-
税率 2	-
税額 (合計)	-
備考	-

相殺後の金額を入力

振込手数料の相殺内容を入力

図 3-5 入力例イメージ (振込手数料の控除)

金融EDI情報項目	入力内容 (例)
業界区分	Z01
データ区分	001
支払通知番号	-
支払通知発行日	-
請求書番号 (入力推奨)	9999
支払人企業法人コード (入力推奨)	1234567890123
受取人企業法人コード	-
請求先企業名	-
請求先企業法人コード	-
支払金額 (明細)	-
金額相殺理由	-
相殺金額	-
税額 1	40000
税率 1	8
税額 2	50000
税率 2	10
税額 (合計)	90000
備考	-

複数税率に対応する場合の入力例

図 3-6 入力例イメージ (複数税率への対応)



## 4. S-ZEDI の操作手順

総合振込ファイル作成までの操作概要を以下に示します。

※資料内の画面イメージについては、予告なく変更させていただく場合があります。

### (1) WEB 画面へのアクセス

WEB ブラウザから S-ZEDI の URL (取引先金融機関にお問合せください。) にアクセスします。

### (2) 支払情報の入力

振込依頼人情報入力画面 (図 4-1) において、取組日、振込依頼人情報等を入力します。

グループメッセージ ID、支払情報 ID は、XML ファイルの仕様上必須項目となります。初期値として現在日時 (YYYYMMDDhhmm) + “001” が表示されますので、異なる ID にしたい場合は変更してください。利用しない場合には、特に変更の必要はございません。

### (3) 取引明細画面への遷移

取引明細入力ボタンを押下し、取引明細入力画面 (図 4-2) に遷移します。

全銀EDIシステム  
利用可能時間 8:00~19:00 マニュアルダウンロード 本サービスのご利用マニュアルはこちらよりダウンロードできます。

簡易XMLファイル作成 総合振込依頼 振込人情報入力  
本画面では、入力情報をもとに総合振込に利用するXMLファイルを作成できます。  
※は必須項目です。

■取組日  
取組日(振込指定日) ※  
(YYYYMMDD)

■振込依頼人情報  
振込依頼人コード ※ (半角数字10桁) 振込依頼人名 ※ (半角40文字以内) 法人番号(法人マイナンバー) (半角数字13桁)

銀行番号 ※ (半角数字4桁) 銀行名 (半角15文字以内) 支店番号 ※ (半角数字3桁) 支店名 (半角15文字以内)

預金種目 口座番号 (半角数字7桁以内)

■取引管理情報  
グループメッセージID ※ 注1 (半角35文字以内) 支払情報ID ※ 注2 (半角35文字以内)

注1 初期値は「作成年月日時分+001」です。変更される場合、作成する総合振込依頼明細ファイルに割当てする任意の番号を入力してください。  
注2 初期値は「作成年月日時分+001」です。変更される場合、支払情報に割当てする任意の番号を入力してください。

■取引明細一覧  
取引明細入力 (3) 取引明細画面への遷移  
取引明細照会 (取引明細一覧と見比べが可能です。)

■取引明細合計  
合計件数(件) 0 合計金額(円) 0

総合振込依頼明細(確認用) ファイルダウンロード  
入力された情報を確認するための、総合振込依頼明細(確認用)ファイルをごダウンロードします。  
このファイルは内管確認用のファイルであり、総合振込にはご利用できません。

総合振込依頼明細 ファイルダウンロード  
総合振込にご利用可能な総合振込依頼明細ファイルをごダウンロードします。  
総合振込にはこちらのファイルをご利用ください。

30分以上操作がない場合、入力された情報は破棄されます。  
本サービスにご不明な点がある場合には、ご利用の金融機関までお問い合わせください。

図 4-1 振込依頼人情報入力画面

(4) 取引明細情報の入力

取引明細入力画面（図 4-2）において、受取人情報、振込金額等を入力します。

(5) 金融 EDI 情報の入力

必要に応じて、取引に紐付く金融 EDI 情報を入力します。

金融 EDI 情報は、1 取引明細あたり最大 10 件まで入力可能です。

金融 EDI 情報の項目については、「2.5 S-ZEDI の入力項目について」をご参照ください。

(6) 取引明細一覧へ反映

取引明細情報、金融 EDI 情報の入力が完了したら、取引明細一覧に反映ボタンを押下し、振込依頼人情報入力画面（図 4-3）に遷移します。取引明細一覧に入力した内容が反映されます。

**全銀EDIシステム**  
利用可能時間 8:00~19:00 マニュアルダウンロード 本サービスのご利用マニュアルはこちらよりダウンロードできます。

簡易XMLファイル作成\_総合振込依頼\_取引明細入力

本画面では、受取人情報、振込金額、その他取引明細情報、金融EDI情報を入力します。  
※は必須項目です。

**(4) 取引明細情報の入力**

■受取人情報

受取人名 ※	法人番号(法人マイナンバー)	手形交換所番号	
(半角30文字以内)	(半角数字13桁)	(半角数字4桁)	
銀行番号 ※	銀行名	支店番号 ※	支店名
(半角数字4桁)	(半角15文字以内)	(半角数字9桁)	(半角15文字以内)
預金種目 ※	口座番号 ※		
(半角数字7桁以内)			

■振込金額

振込金額(円) ※
(半角数字10桁以内)

■その他取引明細情報

取引明細識別番号 ※ 注1	顧客コード1	顧客コード2		
(半角35文字以内)	(半角10文字以内)	(半角10文字以内)		
振込指定区分	識別表示	グミ(ヘッダー)	グミ(データ)	新規コード ※ 注2
(半角1桁)	(半角17文字以内)	(半角7文字以内)	(半角7文字以内)	

注1 取引明細を識別するための任意の番号を入力してください。S-ZEDIでは1ファイル毎に最大10件の取引明細を作成可能です。  
注2 新規コードを下記のように入力してください。選択内容に関する対応先は、お取引先金融機関までお問い合わせください。  
(その他) (第1回振込分) (変更分) (残化向銀行) (支店) (預金種目) (口座番号)

**(5) 金融EDI情報の入力**

金融EDI情報1	
業界区分(半角英数字3文字以内)(1)	
子区分(半角英数字3文字以内)(1)	
支払通知番号(半角(自由入力)40文字以内)(1)	
支払通知発行日(YYYYMMDD)(1)	
請求番号(入力確認)(金半角(自由入力)40文字以内)(1)	
支払企業法人コード(入力確認)(半角数字13桁)(1)	
受取企業法人コード(半角数字13桁)(1)	
請求先企業名(金半角(自由入力)40文字以内)(1)	
請求先企業法人コード(半角数字13桁)(1)	
支払金額(明細)(半角英数字10文字以内)(1)	
金融相殺理由(金半角(自由入力)40文字以内)(1)	
相殺金額(半角英数字10文字以内)(1)	
残額1(半角英数字10文字以内)(1)	
残額1(半角数字9桁以内)(1)	
残額2(半角英数字10文字以内)(1)	
残額2(半角数字9桁以内)(1)	
残額(合計)(半角英数字10文字以内)(1)	
備考(金半角(自由入力)140文字以内)(1)	

**(6) 取引明細一覧に反映 (振込依頼人情報入力画面に遷移)**

取引明細一覧へ反映  
取引明細一覧へ反映せずに戻る

30分以上操作がない場合、入力された情報は破棄されます。  
本サービスにご不明な点がある場合には、ご利用の金融機関までお問い合わせください。

図 4-2 取引明細入力画面

(7) 取引明細情報の追加

取引明細情報を追加する場合は、(3)～(6)を繰り返します。

取引明細情報は、1ファイルあたり最大10明細まで登録可能です。

(8) 確認用ファイルの取得

入力が完了したら、総合振込依頼明細(確認用)ファイルダウンロードボタンを押下し、確認用のXMLファイルを取得し、内容を確認します。

※確認用ファイルは金融EDI情報が変換されていないため、確認・保存用としてご利用ください。

(9) XMLファイルの取得

内容確認後、総合振込依頼明細ファイルダウンロードボタンを押下し、XMLファイルを取得します。

全銀EDIシステム

利用可能時間 8:00~19:00 [マニュアルダウンロード](#) 本サービスのご利用マニュアルはこちらよりダウンロードできます。

### 簡易XMLファイル作成\_総合振込依頼\_振込人情報入力

本画面では、入力情報をもとに総合振込に利用するXMLファイルを作成できます。  
※は必須項目です。

■ 取組日

取組日(振込指定日) ※
20181225 (YYYYMMDD)

■ 振込依頼人情報

振込依頼人コード ※	振込依頼人名 ※	法人番号(法人マイナンバー)	
1234567890 (半角数字10桁)	株式会社ABC (半角40文字以内)	1234567890123 (半角数字13桁)	
銀行番号 ※	銀行名	支店番号 ※	支店名
0000 (半角数字4桁)	株式会社ABC (半角15文字以内)	000 (半角数字3桁)	支店ABC (半角15文字以内)
預金種目	口座番号		
1(普通預金)	0000000 (半角数字7桁以内)		

■ 取引管理情報

グループメッセージID ※ 注1	注2
201512250800001 (半角35文字以内)	(半角5文字以内)

注1 初期値は「作成年月日時分+001」です。変更される場合、作成する総合振込依頼明細  
注2 初期値は「作成年月日時分+001」です。変更される場合、支払情報に該当する任意の

取引明細入力画面で入力した情報が反映されます。

■ 取引明細一覧

項番	削除	取引明細編集	受取人情報				振込金額(円)	金融EDI情報入力
			銀行番号	支店番号	預金種目	口座番号		
1	<input type="checkbox"/>	<a href="#">取引明細編集</a>	9999	999	1(普通預金)	9999999	1,000,000,000	有

[取引明細入力](#) 受取人情報、振込金額、その他取引明細情報、金融EDI情報を入力する画面へ移動します。  
[取引明細削除](#) チェックした取引明細を一覧から削除します。

■ 取引明細合計

合計件数(件)	合計金額(円)
1	1,000,000,000

[総合振込依頼明細\(確認用\)ファイルダウンロード](#) このXMLファイルは金融EDI情報が含まれておらず、総合振込に利用されません。  
[総合振込依頼明細ファイルダウンロード](#) 総合振込にはこちらのファイルをご利用ください。

30分以上操作がない場合、入力された情報は破棄されます。  
本サービスにご不明な点がある場合には、ご利用の金融機関までお問い合わせください。

図 4-3 振込依頼人情報入力画面



## 確認用ファイルについて

S-ZEDI では、総合振込に利用できる XML ファイルと、金融 EDI 情報の内容を確認することのできる確認用ファイルの2種類のファイルがダウンロード可能です。

総合振込用の XML ファイルでは金融 EDI 情報が変換された形式で作成されます。確認用ファイルは金融 EDI 情報が変換されずに作成されるため、内容確認が必要な場合は確認用ファイルをダウンロードしてご利用ください。

ただし、確認用ファイルは総合振込においてはご利用いただけませんのでご注意ください。

### ■金融 EDI 情報の出力イメージ

【金融 EDI 情報の変換あり(XML ファイル)】

変換されていて  
内容確認不可

<RmtInf>

```
<Ustrd>MIME-Version: 1.0</Ustrd>
<Ustrd>Content-Type: text/xml</Ustrd>
<Ustrd>Content-Transfer-Encoding: base64</Ustrd>
<Ustrd>TM3DOwEMPQxMZAgyN...TEBL5MTAC9+b2IQo</Ustrd>
<Ustrd>Q5MDEwMTAwMDIAwMT...8YnV5ZXI+DQogICAg</Ustrd>
:
:
<Ustrd>CgOKDQoNCgOKICAgICAg</Ustrd>
```

</RmtInf>

【金融 EDI 情報の変換なし(確認用ファイル)】

変換されておらず、  
入力した内容が確認できる

<RmtInf>

```
<Ustrd>
  <EDIInf1>
    <SubsetSpecifiedID>業界区分</SubsetSpecifiedID>
    <BusinessProcessSpecifiedID>データ区分</BusinessProcessSpecifiedID>
    <ExchangedDocumentID>支払通知番号</ExchangedDocumentID>
    :
    :
    <TaxTotalAmount>税額(合計)</TaxTotalAmount>
    <Content>備考</Content>
  </EDIInf1>
</Ustrd>
```

</RmtInf>

## 5. お問い合わせ先

S-ZEDI および本冊子に関してご不明点等ございましたら、全銀ネットの下記問合せ窓口、またはお取引先の金融機関にお問い合わせください。

### 【全銀ネット問合せ窓口】

一般社団法人 全国銀行資金決済ネットワーク 業務部

メールアドレス：[xml\\_s-zedi@zengin-net.jp](mailto:xml_s-zedi@zengin-net.jp)

## 参考1. S-ZEDI で登録可能な金融 EDI 情報のタグ名一覧

S-ZEDI で登録可能な金融 EDI 情報のタグ名は以下のとおりです。

画面表示名	タグ名	桁数・属性
-(画面表示されない項目)	EDIInf <sub>n</sub> ※	-
業界区分	SubsetSpecifiedID	半角英数字3文字以内
データ区分	BusinessProcessSpecifiedID	半角英数字3文字以内
支払通知番号	ExchangedDocumentID	全半角40文字以内
支払通知発行日	IssueDateTime	半角数字8桁(YYYYMMDD)
請求書番号(入力推奨)	IssuerAssignedID	全半角40文字以内
支払人企業法人コード(入力推奨)	PayerID	半角数字13桁
受取人企業法人コード	PayeeID	半角数字13桁
請求先企業名	BuyerName	40文字以内
請求先企業法人コード	BuyerID	半角数字13桁
支払金額(明細)	PaymentTotalAmount	半角英数字10文字以内
金額相殺理由	BalanceOutReasonDescription	全半角40文字以内
相殺金額	BalanceOutCalculatedAmount	半角英数字10文字以内
税額1	TaxCalculatedAmount1	半角英数字10文字以内
税率1	TaxCalculatedRate1	半角数字3桁以内
税額2	TaxCalculatedAmount2	半角英数字10文字以内
税率2	TaxCalculatedRate2	半角数字3桁以内
税額(合計)	TaxTotalAmount	半角英数字10文字以内
備考	Content	全半角140文字以内

※最上位タグ(EDIInf<sub>n</sub>)の末尾の「n」は、タグの繰り返し数(1~10)となります。

なお、本項目は、確認用ファイルにおいてご確認可能です。(例)EDIInf1

図 参考1-1 S-ZEDI で登録可能な金融 EDI 情報のタグ名一覧

## 参考 2. XML 電文の電子領収書への活用について

XML 電文を電子領収書に活用するにあたり、S-ZEDI で振込電文 (XML ファイル) を作成する際に入力すべき項目をご説明します。

以下に示す電子領収書発行の発行スキームおよび概要については、全国銀行協会の HP において公表されている「情報処理事業者が XML 電文の振込入金通知等を利用して電子領収書の発行業務を行うに当たっての手引き」を参考に記載しております。

(<https://www.zenginkyo.or.jp/news/detail/nid/9574/>)

### (1) 電子領収書の発行スキーム

「情報処理事業者が XML 電文の振込入金通知等を利用して電子領収書の発行業務を行うに当たっての手引き」に記載されている電子領収書の発行スキームは、受取企業が ZEDI から取得する XML 電文の振込入金通知または入出金取引明細通知 (以下、併せて「camt 電文」という。) を利用するものです。受取企業は ZEDI から取得した camt 電文を情報処理事業者に送信し、情報処理事業者が電子領収書を作成して、支払企業に送信します。

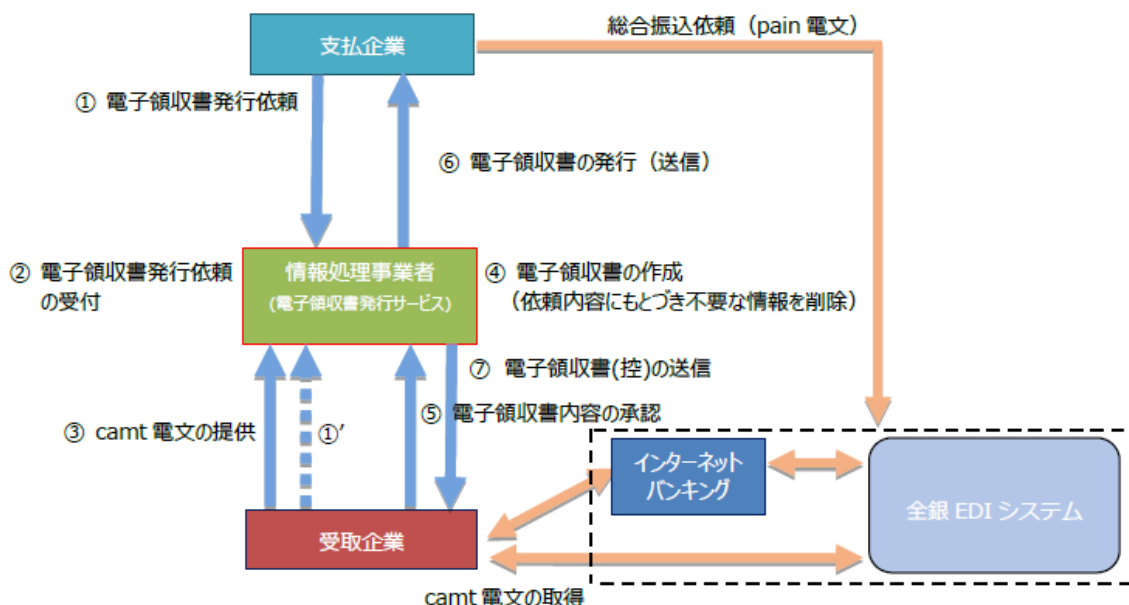


図 参考 2-1 電子領収書発行のスキームのイメージ

- ① 電子領収書の発行依頼 (①'は、受取企業が情報処理事業者に依頼する場合)  
支払企業は、情報処理事業者に対して電子領収書の発行を依頼する。
- ② 電子領収書の発行依頼の受付  
情報処理事業者は、支払企業 (または受取企業) から、電子領収書の発行依頼を受け付ける。

③ camt電文の提供

受取企業は、全銀EDIシステムから取得したcamt電文を情報処理事業者に提供する。

④ 電子領収書の作成

情報処理事業者は、受取企業から受領したcamt電文をもとに、発行依頼人の依頼内容にもとづき、不要な情報を削除したうえで、電子領収書を作成する。

⑤ 電子領収書内容の承認

受取企業は、情報処理事業者が支払企業に発行する電子領収書の内容について、承認する。

⑥ 電子領収書の発行（送信）

情報処理事業者は、受取企業の承認を受けた電子領収書を支払企業に発行（送信）する。

⑦ 電子領収書（控）の送信

情報処理事業者は、支払企業に発行した電子領収書の控を受取企業に発行する。

(2) 電子領収書の概要

「情報処理事業者が XML 電文の振込入金通知等を利用して電子領収書の発行業務を行うに当たっての手引き」において、領収書記載事項に対する camt 電文上の項目について、以下のとおり示されております。

表 参考 2-1 領収書記載事項と camt 電文上の項目の対応一覧

領収書記載事項	camt 電文上の項目
発行者	口座名/金融 EDI 情報（受取人企業名）
取引日時	勘定日
取引内容	金融 EDI 情報（支払通知番号、請求書番号等）
金額	金額/取引金額
書類の受取人	振込依頼人名



(3) S-ZEDI の入力項目

受取企業が領収書記載事項の含まれる camt 電文を取得できるようにするため、支払企業が S-ZEDI で振込電文 (XML ファイル) を作成する際に入力すべき項目を以下に示します。

表 参考 2-2 領収書記載事項に対する S-ZEDI の入力内容

領収書記載 事項	camt 電文上の 項目	設定内容	S-ZEDI での 入力有無
発行者	口座名	被仕向銀行が camt 電文に設定する 口座名	—
	金融 EDI 情報 (受取人企業名)	受取人名	○
取引日時	勘定日	被仕向銀行が camt 電文に設定する 勘定日	—
取引内容	金融 EDI 情報 (支払通知番号、 請求書番号等)	金融 EDI 情報内の支払通知番号、 請求書番号等	○
金額	金額/取引金額	振込金額 (円) または金融 EDI 情 報内の支払金額 (明細)	○
書類の受取人	振込依頼人名	振込依頼人名	○